

# リハビリテーション医療における評価及び実績

## 東京都保健医療計画(平成30年3月改定)の内容

<課題1>

一貫したリハビリテーションの実施

<課題2>

地域リハビリテーション支援体制の充実が必要

<課題3>

東京都リハビリテーション病院の運営



<取組1>

一貫したリハビリテーションの推進

<取組2>

地域リハビリテーション支援体制の充実

<取組3>

東京都リハビリテーション病院の運営

## 各指標の達成状況

項目	取組	指標名	策定時	目標値	実績			達成状況
					1年目	2年目	3年目	
リハビリテーション医療	取組1 取組2 取組3	リハビリテーションが実施可能な医療機関数	運動器 892施設 脳血管 537施設 呼吸器 319施設 がん 117施設 心大血管 86施設 (平成29年9月現在)	増やす	運動器 939施設 脳血管 561施設 呼吸器 324施設 がん 126施設 心大血管 95施設 (平成31年4月現在)	運動器 958施設 脳血管 565施設 呼吸器 325施設 がん 131施設 心大血管102施設 (令和2年4月現在)	運動器 996施設 脳血管 582施設 呼吸器 322施設 がん 132施設 心大血管102施設 (令和3年4月現在)	A
	取組1	回復期リハビリテーション病棟の病床数	7,057床 (10万人当たり51.4床) (平成29年9月現在)	増やす	7,707床 (10万人当たり55.6床) (平成30年12月現在)	8,075床 (10万人当たり57.9床) (令和2年2月現在)	8,359床 (10万人当たり59.9床) (令和3年1月現在)	A

<評価基準>

A: 達成している B: 概ね達成している  
C: やや達成が遅れている  
D: 達成が遅れている - : その他

# 事業実績

課題	取組	事業名	事業概要	これまでの取組状況	
				令和元年度実績	令和2年度実績
課題1	取組1	○地域リハビリテーション支援事業	○おおむね二次保健医療圏ごとに指定している地域リハビリテーション支援センターを拠点に、地域において様々な形態で実施されているリハビリテーション事業を支援することによって、保健・医療・福祉が連携した地域におけるリハビリテーションのシステム化を図る。	○脳卒中地域連携バスの標準様式「東京都脳卒中地域連携診療計画書」をホームページに掲載し普及を実施 ○地域リハビリテーション支援センター(12医療圏) ・地域リハビリテーション提供体制の強化 ・訪問・通所リハビリテーションの利用促進 ・地域リハビリテーション関係者の連携強化	○脳卒中地域連携バスの標準様式「東京都脳卒中地域連携診療計画書」をホームページに掲載し、普及啓発を実施 ○地域リハビリテーション支援センター(12医療圏) ・地域リハビリテーション提供体制の強化 ・訪問・通所リハビリテーションの利用促進 ・地域リハビリテーション関係者の連携強化
		○地域医療構想推進事業(施設設備整備)	○地域医療構想に基づき、病床の整備及び病床機能の転換を行う医療機関に対し、改修・改築等の施設・設備整備に要する経費の一部を補助することにより、都における病床機能分化を促進する。  ○病床機能の分化・連携を進め、地域包括ケアシステムの推進を図るため、医療機能の強化を行う地域医療を支える医療機関に対し、改修又は増築の施設・設備整備に要する経費の一部を補助する。	○回復期機能の充実を図るため、回復期リハビリテーション病床及び地域包括ケア病床等の施設・設備整備に要する費用について補助 ・施設(7施設) ・設備(5施設)	○回復期機能の充実を図るため、回復期リハビリテーション病床及び地域包括ケア病床等の施設設備整備に要する費用について補助 ・施設(10施設) ・設備(1施設)  ○病床機能の分化・連携や地域包括ケアシステムの構築に資する医療機能の強化に必要な施設設備整備に要する費用について補助 ・中小病院(53施設)
課題2	取組2	○地域リハビリテーション支援事業	○地域のリハビリテーション施設、自治体、関係団体等の参画による連絡会を開催し、地域リハビリテーションに関わる施設等の連携を推進する。  ○大規模災害発生後、被災者に対する生活不活発病予防、居住環境等の調整などのリハビリテーション支援ができるよう、災害時リハビリテーション支援体制の構築に取り組む。	○地域リハビリテーションに関する現状や課題等について意見交換や情報共有を行い、地域リハビリテーション関係者の連携を強化  ○地域リハビリテーション支援センターが連携し、地域リハビリテーションにおける課題の分析、検討や、解決のための取組を推進できるよう、地域リハビリテーション支援センター連絡会の回数や内容を充実  ○地域リハビリテーション支援センターの役割や設置規模など、機能強化に向けた検討や、災害時リハビリテーション支援体制の構築に向けた検討を行うための検討部会を設置	○地域リハビリテーションに関する現状や課題等について意見交換や情報共有を行い、地域リハビリテーション関係者の連携を強化  ○地域リハビリテーション支援センター連絡会を活用し、支援センター職員を対象とした研修を開催したほか、支援センターの運営に関する課題の検討等を実施  ○東京都リハビリテーション協議会及び地域リハビリテーション支援センター機能強化検討部会において、災害時リハビリテーション支援体制を含めた地域リハビリテーション支援体制の強化等について検討
		○リハビリテーション病院運営	○東京都におけるリハビリテーション医療の中核的施設として高度診療機能を整え、身体に機能障害があり、リハビリテーション医療を専門的に行う必要のある患者に、外来及び入院による医療を行うとともに、医療関係者の教育研修やリハビリテーションの臨床研究を行う。	○急性期病院等との連携強化により、患者の受入れから退院後の支援まで切れ目ないサービス提供を行うほか、日・祝日も月曜から土曜までと同等のリハビリテーション訓練を行う「365日リハビリテーション」を実施 ・入院患者数 56,879/年 ・外来患者数 14,501/年  ○臨床研究に取り組み、その成果を学会に発表したほか、実習生、見学生の受入を実施	○急性期病院等との連携強化により、患者の受入れから退院後の支援まで切れ目ないサービス提供を行うほか、日・祝日も月曜から土曜までと同等のリハビリテーション訓練を行う「365日リハビリテーション」を実施 ・入院患者数 51,093/年 ・外来患者数 8,210/年  ○新型コロナウイルス感染症関連 ・感染者を出さずに、充実したリハビリテーション医療を提供 ・面会禁止による入院患者の精神的なサポートとして、感染予防対策を講じながらイベントやレクリエーション等の企画、工夫を凝らした給食メニューの提供など、患者に寄り添ったサービスを提供 ・モバイルツールを使えない高齢者等のために、病棟でオンライン面会ができる体制を整備  ○臨床研究に取り組み、その成果を学会に発表したほか、実習生、見学生の受入を実施
課題3	取組3	○地域リハビリテーション支援事業	○地域リハビリテーション支援センターとして、地域の関係機関等と連携を推進するとともに、研修等を実施	○地域リハビリテーション支援センターとして、地域の関係機関等と連携を推進するとともに、研修等を実施	○地域リハビリテーション支援センターとして、地域の関係機関等と連携を推進するとともに、研修等を実施
		○地域リハビリテーション支援事業	○地域リハビリテーション支援センターとして、地域リハビリテーションに関わる施設や行政等と連携し、地域リハビリテーションの支援を行う。	○地域リハビリテーション支援センター連絡会のとりまとめ役として、連絡会の取組を推進  ○退院支援の強化により、入院療養の質の向上に寄与し、安心して退院後のより良い在宅医療を継続できるよう支援を実施	○地域リハビリテーション支援センター連絡会のとりまとめ役として、支援センター職員を対象とした研修会を開催するなど、連絡会の取組を推進  ○退院支援の強化により、入院療養の質の向上に寄与し、安心して退院後のより良い在宅医療を継続できるよう支援を実施

## 委員の皆様からの意見

- ◎ 指標に対する都の評価については、妥当である。
- 地域リハビリテーションは、高齢者や急性発症疾患への対策が中心となりがちであるが、障害を持つ全ての人のリハビリテーション、機会均等、社会的包摂に向けた取り組みが促進されるよう、一層の働きかけが必要。
- リハビリテーションが実施可能な医療機関数、回復期リハ病床数は増加しているため、今後は、リハビリの質について評価が必要。また、病院外のクリニックや在宅医療でのリハビリテーション医療の広がりについても今後は検討が必要。